活動報告

団体名 吹田市社会福祉協議会 施設連絡会 活動名 平成30年7月豪雨における災害支援ボランティアバス運行 活動期間 2018/08/10 ~ 2018/08/10 ボランティア参加者全員が福祉従事者であり、聞き取りの際にも被災者の気持ちを尊重し、調査を行いました。約70件の自宅を訪問(留守宅含む)の調査結果、6件のニーズ把握ができました。くれせミニサテライト運営者に報告し、今後ボランティアのマッチングを調整していくこととなりました。また、施設連絡会会員施設へ運行報告を行い、参加者の施設の広報誌などで記事掲載したことで、現地の坑況や活動報告の周知を行いました。参加者からは、現地の方の前向きな想いや他の方を気づかう想いが印象的でした。短時間の活動かつ訪問ニーズ調査のため、現地の方の力になれたか不安ではあるが、いただいた役割を担うことで地域全体の力になっていると幸いとの気づき、感想がありました。 吹田市社会福祉協議会施設連絡会では「地域の福祉に貢献したい」という思いのもと、日頃より吹田市内の民間福祉施設がさまざまな社会貢献活動を行っています。今回の平成30年7月に発生した豪雨災害において「被害にあわれた方の生活再建をすすめたい」「地位貢献したい」という会員施設の思いから、近畿圏内という枠を超えて災害ボランティアバス運行を行うこととなりました。ご寄付いただいた助成金を活用させていただいたことで滞りなく運行ができました。もし今後支援が必要となる地域が出てきた際にも役割を検討して、お力になることができる方法を検討していきたいと思います。この度はご支援いただきまして、ありがとうございます。		
活動期間 2018/08/10 ~ 2018/08/10 ボランティア参加者全員が福祉従事者であり、聞き取りの際にも被災者の気持ちを尊重し、調査を行いました。約70件の自宅を訪問(留守宅含む)の調査結果、6件のニーズ把握ができました。くれせミニサテライト運営者に報告し、今後ボランティアのマッチングを調整していくこととなりました。また、施設連絡会会員施設へ運行報告を行い、参加者の施設の広報誌などで記事掲載したことで、現地の状況や活動報告の周知を行いました。参加者からは、現地の方の前向きな想いや他の方を気づかう想いが印象的でした。短時間の活動かつ訪問ニーズ調査のため、現地の方の力になれたか不安ではあるが、いただいた役割を担うことで地域全体の力になっていると幸いとの気づき、感想がありました。 「吹田市社会福祉協議会施設連絡会では「地域の福祉に貢献したい」という思いのもと、日頃より吹田市内の民間福祉施設がさまざまな社会貢献活動を行っています。今回の平成30年7月に発生した豪雨災害において「被害にあわれた方の生活再建をすすめたい」「地位貢献したい」という会員施設の思いから、近畿圏内という枠を超えて災害ボランティアバス運行を行うこととなりました。ご寄付いただいた助成金を活用させていただいたことで滞りなく運行ができました。もし今後支援が必要となる地域が出てきた際にも役割を検討して、お力になることができる方法を検討していきたいと思います。	団体名	吹田市社会福祉協議会 施設連絡会
ボランティア参加者全員が福祉従事者であり、聞き取りの際にも被災者の気持ちを尊重し、調査を行いました。約70件の自宅を訪問(留守宅含む)の調査結果、6件のニーズ把握ができました。くれせミニサテライト運営者に報告し、今後ボランティアのマッチングを調整していくこととなりました。また、施設連絡会会員施設へ運行報告を行い、参加者の施設の広報誌などで記事掲載したことで、現地の状況や活動報告の周知を行いました。参加者からは、現地の方の前向きな想いや他の方を気づかう想いが印象的でした。短時間の活動かつ訪問ニーズ調査のため、現地の方の力になれたか不安ではあるが、いただいた役割を担うことで地域全体の力になっていると幸いとの気づき、感想がありました。 吹田市社会福祉協議会施設連絡会では「地域の福祉に貢献したい」という思いのもと、日頃より吹田市内の民間福祉施設がさまざまな社会貢献活動を行っています。今回の平成30年7月に発生した豪雨災害において「被害にあわれた方の生活再建をすすめたい」「地位貢献したい」という会員施設の思いから、近畿圏内という枠を超えて災害ボランティアバス運行を行うこととなりました。ご寄付いただいた助成金を活用させていただいたことで滞りなく運行ができました。もし今後支援が必要となる地域が出てきた際にも役割を検討して、お力になることができる方法を検討していきたいと思います。	活動名	平成30年7月豪雨における災害支援ボランティアバス運行
ちを尊重し、調査を行いました。約70件の自宅を訪問(留守宅含む)の調査結果、6件のニーズ把握ができました。くれせミニサテライト運営者に報告し、今後ボランティアのマッチングを調整していくこととなりました。また、施設連絡会会員施設へ運行報告を行い、参加者の施設の広報誌などで記事掲載したことで、現地の状況や活動報告の周知を行いました。参加者からは、現地の方の前向きな想いや他の方を気づかう想いが印象的でした。短時間の活動かつ訪問ニーズ調査のため、現地の方の力になれたか不安ではあるが、いただいた役割を担うことで地域全体の力になっていると幸いとの気づき、感想がありました。 「吹田市社会福祉協議会施設連絡会では「地域の福祉に貢献したい」という思いのもと、日頃より吹田市内の民間福祉施設がさまざまな社会貢献活動を行っています。今回の平成30年7月に発生した豪雨災害において「被害にあわれた方の生活再建をすすめたい」「地位貢献したい」という会員施設の思いから、近畿圏内という枠を超えて災害ボランティアバス運行を行うこととなりました。ご寄付いただいた助成金を活用させていただいたことで滞りなく運行ができました。もし今後支援が必要となる地域が出てきた際にも役割を検討して、お力になることができる方法を検討していきたいと思います。	活動期間	2018/08/10 ~ 2018/08/10
のもと、日頃より吹田市内の民間福祉施設がさまざまな社会貢献活動を行っています。今回の平成30年7月に発生した豪雨災害において「被害にあわれた方の生活再建をすすめたい」「地位貢献したい」という会員施設の思いから、近畿圏内という枠を超えて災害ボランティアバス運行を行うこととなりました。 ご寄付いただいた助成金を活用させていただいたことで滞りなく運行ができました。もし今後支援が必要となる地域が出てきた際にも役割を検討して、お力になることができる方法を検討していきたいと思います。	活動の成果	ちを尊重し、調査を行いました。約70件の自宅を訪問(留守宅含む)の調査結果、6件のニーズ把握ができました。くれせミニサテライト運営者に報告し、今後ボランティアのマッチングを調整していくこととなりました。また、施設連絡会会員施設へ運行報告を行い、参加者の施設の広報誌などで記事掲載したことで、現地の状況や活動報告の周知を行いました。参加者からは、現地の方の前向きな想いや他の方を気づかう想いが印象的でした。短時間の活動かつ訪問ニーズ調査のため、現地の方の力になれたか不安ではあるが、いただいた役割を担うことで地域全体の力になっていると幸いとの気づ
		のもと、日頃より吹田市内の民間福祉施設がさまざまな社会貢献活動を行っています。今回の平成30年7月に発生した豪雨災害において「被害にあわれた方の生活再建をすすめたい」「地位貢献したい」という会員施設の思いから、近畿圏内という枠を超えて災害ボランティアバス運行を行うこととなりました。 ご寄付いただいた助成金を活用させていただいたことで滞りなく運行ができました。もし今後支援が必要となる地域が出てきた際にも役割を検討して、お力になることができる方法を検討していきたいと思います。

(活動のようす)





